

登録コード	A3591323	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習 I				担当教員	鏡味 裕	
英文授業名	Presentation I						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022アカリ，2021アカリ，2020アカリ，2019アカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	学術成果のプレゼンテーション方法を理解する。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	学術成果のプレゼンテーション方法を理解する。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024アカリ，2023アカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	学術成果のプレゼンテーション方法を理解する。	
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	学術成果のプレゼンテーション方法を理解する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	秀S:達成目標の水準から見て卓越している 優A:達成目標の水準よりかなり上にある 良B:達成目標の水準よりやや上にある 可C:達成目標の水準にある 不可D:達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(8)事前事後学習の内容	既刊の原著論文・学会要旨等を活用し、事前事後の自己学習も含めプレゼンテーションスキル向上を目指す。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	受講態度と最終回に提出した課題の内容						
(11)質問、相談への対応および連絡先	メール： kagami@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	Nature (2026) Science (2026) Development (2026) Cell Stem Cell (2026) *ポスター発表はチャンスの宝庫 （今泉美佳著、羊土社） *これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版）						